

笑顔のひろば

ひとりりで障害者協働支援ネットワーク

第89号

1面：代表の挨拶／第73回定例会開催案内 2面：障害者週間行事報告／バリアフリー探検隊／劇団SEW公演 3面：あいサポート運動について／取手市自立支援協議会報告 4面：障害平等ネットワーク参加団体からのお知らせ①取手精神家族会ホットスペース②「楽ちん介護」開催報告③チャレンジの広場開催報告／連絡先／会員募集



新年のごあいさつ

幹事代表 染野 和成

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たりひと言ご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては日頃より当団体の活動に対しましてご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年はコロナが感染症5類に分類され、インフルエンザ同様、年1回のワクチン接種で済むようになったのには助かります。
昨年の活動を振り返りますと、皆さんの協力により予定していた行事は実施出来ましたが、残念だったのは衆議院総選挙の投票日と前後したことにより、6月から準備を進めていた福祉まつり「笑顔のひろば」が中止を余儀なくされたことは残念でした。

私たちは今年も皆さんとの協働により、誰もが住みやすい社会を目指して活動します。

どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

第73回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 2025年(令和7年)1月21日(火)10:00~12:00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

障害者週間行事報告

去る、12月7日（土）バリアフリー探検隊が行われました。今年は初の試みとして参加された方々が全員、車椅子に乗っていただき、介助される側とする側の両方を経験しました。



コースとしては市役所からふれあい道路に向かって折り返し、また市役所に戻るとい



う往復1kmの距離でした。最近、作られた歩道でも通れる幅は狭く、住宅地から伸びた樹木は更に道幅を狭めており、場所によっては車椅子を使う本人の顔前に迫ります。今回の経験は初めて車椅子に乗った方々

に、車いすに乗る側の恐怖心が少しでも分かって頂ければ成功、と思います。

（記 染野）

～「体験型劇団 SEW 公演」を終えて～

「とっておきの芸術祭 in 取手」に障害者だけの『劇団 SEW』をゲストとして迎えていただき、無事公演を終えることができました。

多くの方から感動した、触発された、というお声をいただき、手応えのある公演となりました。劇団の立ち上げ当初は、人の前に出ることさえでき



なかった団員が、皆様の前でパフォーマンスを堂々と披露するまでに成長できたことを誇りに思います。普段活動している都内以外での初公演に、興奮気味の団員は旅行気分で大はしゃぎでした。移動や行ったことのない土地、会ったことのない方々、初挑戦の演目以外のトークセッション等不安もたくさんあり

ましたが、あたたかく迎えていただき、緊張もほぐれ団員は見事にやり切ってくれました。公演後には「最高！」「楽しかった！」「またやりたい！」と感想を語っており実りの多い1日となりました。

公演を成功に導いていただいた、主催のとりで障害者協働支援ネットワークの皆様、共催の取手市、取手市社会福祉協議会の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

（記 劇団 SEW 代表 滝沢さくら）



3年目を迎えた「あいサポート運動」

令和4年からスタートし基本研修は市民、団体、職員向けに開催。令和5年度からはステップアップ研修も開催しており、今後は市内小・中学生を対象としたあいサポーターキッズ研修を行って行きたい。合理的配慮の提供が事業者にも義務化された今、この研修は大変意義のあることだと感じている。今後は多くの市民の皆さんに周知していけるよう取り組んでいく。

今後の予定：●令和7年1月7日10時～11時30分

寺原公民館 21友の会

●令和7年2月1日9時～12時

取手市役所議会棟 大会議室

(記 阿部)

取手市自立支援協議会報告

11月20日の全体会議で社会福祉課より災害時の避難行動要支援者台帳について障害者の提出が非常に少ないので協力を求められ、改善策を委員たちから意見を出し合った。

各部会の活動は次の通り

- ・児童福祉部会
児童通所事業所の案内を作成し、教育委員会に提出する予定
- ・にも包括部会
支援シートを作成中
ハローワーク土浦の精神障害者雇用トータルサポーターに講演依頼する
- ・地域生活支援部会
レスパイト入院させてくれる病院にアプローチしている。
- ・就労応援部会
企業訪問した際の情報共有
(総合建物サービス、日本畜産振興、練馬製作所)

障害平等研修

11月27日(水)取手市福祉交流センターでDET(障害平等研修 Disability Equality Training)が開催されました。主催は「茨城県に障害のある人の権利条例をつくる会(略称:いばけんつ)」講師はDETいばらきです。

取手でDETを開催するのは6年ぶりでしょうか?

今回の受講者は18名でした。市職員、議員、ボランティア、聴覚障害者も来られました。

DETとは障害とは何?を基本的に考え、そして気が付かない差別を勉強します。そして、障害があるゆえに不便があることに気づくことも大切なことです。受講者は4グループに分かれて意見を出し合って研修によって考えたことをまとめて発表します。

みなさん、感性豊かなとてもいい意見ばかりで感動しました。ひさしぶりのDETはとても刺激的でした。(記 宮脇)



ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ

《取手精神福祉家族会ホットスペース》

ホットスペースは、月1回の定例会で、会員相互の情報交換や家族の体験、お互いに抱えている問題点（子どものこと、葉のこと、病院のこと、年金のこと等）や悩み、疑問点を本音で語り合っています。ひとりで悩まず、皆で集まり交流する事で、前向きに明るくなっています。また、講演会や学習会を通して、病気の理解、薬、障がいのある方への対応の方法、社会福祉制度、親なきあとの問題などについても学んでいます。11月27日の定例会では、「精神に障害のある人の明るい将来」と題して講演会を実施しました。講師は、(株)咲顔B型事業所「つむぐ」管理者の鹿島法博氏でした。講演の要旨は、①前職（福祉）社会福祉法人はる（東京都世田谷区）の紹介、②福祉事業所の経営、③日本の精神医療、④障害者権利条約、⑤(株)咲顔「つむぐ」の紹介でした。「つむぐ」は、取手市藤代庁舎の近くに 있습니다。

日本の精神医療では、心の病は薬とカウンセリングがセットで治療になるが、精神療法を行う医者がいなくなっている。3分診療では日当点にならず、現在は最低でも5分診療が義務付けられている。医原病（医療行為が原因となって起こる病気や障害を指し、医原性疾患とも呼ばれる事がある）が存在すること。世界は地域ケア中心に移行した時代に、日本は入院中心の精神医療体制で有った事。そして今、日本の精神科病院の崩壊が進んでいる、などが披露されました。

障害者権利条約では、2022年9月に国連（WHO）で日本に対する総括所見が採択され、日本としては、指摘された事に対して2028年2月までに改善を講じる必要が有る事。指摘された事項は、非自発的入院による自由剥奪等の法規制の廃止、地域生活の自立への人的・技術的資源と財源を伴う法的枠組み及び国家戦略に着手、地域生活で自立生活するための支援の整備強化、合理的配慮の欠如など、多岐多様な指摘であることを紹介して頂きました。

約1時間の講演でしたが、講演を聴いたホットスペース会員の皆様からは、普段聞けない事を教えて頂けた、興味深い内容であった、とても分かり易かったなど、大変好評の講演会となりました。（藤巻 義明 記）

《NPO法人 生きる》

楽ちん介護 11月17日（日） あけぼの

今回の受講者は4名です。いつもの講師の先生が急遽仕事の都合で来られなくなり、宮脇が代役を務めました。

受講者の中に常連さんもいて、講習は順調に進みましたが、宮脇の高齢化による体力減退でいつもより早く講習を終えました。皆さん消化不良でしたが1月の楽ちん介護に参加していただき改めて勉強してもらいます。（宮脇 貞夫 記）

《チャレンジの広場》

12月15日（日）に今年最後のチャレンジの広場を取手市福祉交流センター多目的ホールで開催しました。今回は21名の参加でした。前回のマッチングプログラムという取手市の事業で参加された方、社協から紹介をいただいた方、2名の方が新たに参加してくれました。競技内容は定番のポッチャと輪投げを行いました。ポッチャははじめてやった方もどんな障害があってもみんなが同じ土俵でできる良い競技だなと改めて感じました。後半は輪投げを行いました。チーム戦で行いました。みんなパーフェクトを狙い、真剣で楽しくやっていたように感じました。（勝山 博行 記）



《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。寄付金についてもよろしくをお願いします。

○会費（年額）

- (1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上
- (2)賛助会員（団体・個人）
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店
普通 1887469
口座名義 障害者協働支援ネットワーク
代表 染野 和成

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第89号

- 発行：2025年（令和7年）1月 1日
- 発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク
- 発行者：染野和成
- 編集者：鈴木澄利 石塚照子 武藤ほとり
- 連絡先：取手市本郷5-4-21

E-mail : toride.ssknet@gmail.com

HP : <http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm>